

個別施設計画

策定年月日	令和3年3月25日
改定年月日	令和6年2月29日

1 対象施設・施設概要					
施設情報					
施設名称	蔵王自然の家	所管所属名称	生涯学習課		
公共施設等総合管理方針施設分類					
大分類	公共用施設	中分類	自然レクリエーション施設	小分類	自然の家
主要建物概要					
構造	鉄筋コンクリート	用途	庁舎	建築日	1971/8/10
経過年数	52年	耐用年数	50年	目標使用年数	65年
運営方式	直営	管理者名称	蔵王自然の家	全延床面積(㎡)	5,484.42
所在地	刈田郡蔵王町遠刈田温泉字上の原155-1				
2 計画期間					
計画期間は令和3年度から令和32年度までの30年間とする					
3 当該施設の必要性					
設置根拠規定等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第30条、地方自治法第244条の2第1項、自然の家条例第2条		必要性の有無	有	
業務内容	集団宿泊研修を中心とした自然体験活動を通じた青少年の健全な育成及び県民の心身の健全な発達を図るための事業を実施している。				
必要性の判断理由	自然の家は集団宿泊研修を中心とした自然体験活動を通じた青少年の健全な育成を担うとともに、家族利用者や高齢者グループ、企業研修等を受け入れるなど、幅広い年齢層の県民が利用できる生涯学習施設としての役割をも担っている。また、現代社会における体験活動不足やコミュニケーション不足、体力不足が指摘される中、自然の家にはこれまで以上に重要な機能が求められている。さらに、学力向上、不登校等の本県教育課題への対応、インバウンド・教育旅行の受入などの新たな役割も期待されており、施設の必要性は高い。				
4 施設ごとの今後の対策					
管理に関する基本的な考え方を踏まえた施設の管理方針	生涯学習施策の推進を図るための拠点として必要不可欠な施設であり、今後も適切な維持管理に努める。点検・補修結果については、データを蓄積し今後の施設保全に活用する。また、予防保全の考え方を取り入れ、劣化状況等に応じた周期的な改修等を行うとともに、計画的な修繕・更新を行う。なお、耐震診断の結果、補強を要することとなった体育館については、平成20年度に耐震補強工事を実施している。目標使用年数は、宮城県公共施設等総合管理方針における推計条件を準用し、法定耐用年数の30%増とする。				
施設間・対策間の優先順位の判断内容	令和5年度末現在で管理棟、宿泊棟、体育館は築52年、食堂棟は築41年、宿泊棟(増築棟)は築30年を経過しており、全体的に施設設備の老朽化が進行している。改修履歴として、平成21年度から平成22年度にかけて屋上・屋根・外壁の補修、高圧気中開閉器・真空式温水ヒーター・加圧ポンプの更新等の大規模改修工事を実施し、令和5年度には宿泊棟等屋上外壁改修工事、受水槽更新工事及び分電盤等改修工事を実施している。それ以外の部位については、適宜修繕や部品交換等により対応しているが、受変電設備や電灯・動力設備、各種配管類は更新時期を迎えている。また、対策の優先順位として、保全点検判定結果C、Dの箇所については最優先で改修・更新を行うとともに、施設の安全安心な利用のため不可欠な部位の空調設備、電話設備及び浄化槽等の改修・更新は令和7年度までに計画的に実施するものとする。併せて、ユニバーサルデザインの推進として、既存トイレを洋式トイレ(温水洗浄便座)に改修するものとする。その他の部位については、建築物のライフサイクルコストに基づき、修繕・更新する計画とする。				